

暮らしやすい 目指して

県では、すべての県民が障がいの有無にかかわらず、お互いに尊重し合いながら共生する社会の実現を目指して、2つの条例を制定しました。障がいや障がいのある人への理解を深め、障がいのある人の社会参加を進めるための取り組みを紹介します。

障がいのある人もない人も共に 暮らしやすい福島県づくり条例

(平成31年4月1日施行)

この条例は、障がいや障がいのある人への県民の理解を深め、障がいを理由とする差別の解消の推進に関し、基本となる事項等を定めています。



福島県手話言語条例

(平成31年4月1日施行)

この条例は、“手話は言語である”との認識に基づいて、手話とろう者^{*}に対する県民の理解を促進し、手話の普及等に関する基本理念や施策の基本となる事項を定めています。

^{*}とろう者：聴覚障がい者のうち、手話を言語として生活を営む人



問 県庁障がい福祉課 ☎024(521)7170

ふくしま共生サポーター

検索

**まず知ることから
はじめませんか？**

障がいのある人が日常生活で困ることは何か、どのような援助を必要としているかなど、障がいや障がいのある人への理解を深め、職場や地域において積極的に情報提供を行う「ふくしま共生サポーター」の養成講座を実施しています。受講者には、県が発行する受講証を交付します。



ヘルプマーク

外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲に配慮を必要としていることを知らせるマーク。



ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬の同伴を啓発するマーク。

障がいに関するマーク

特集

Special Issue

すべての人が ふくしまを

Interview もり はるか 森陽香さん

枠にとらわれない 個性的なアート

郡山市安積町の地域生活サポートセンター「パッソ」の壁に飾られた色鮮やかな絵。作者の森さんは、パッソに週3日通いながら、創作活動を行っています。

「ここではいろんな活動をするけれど、一番好きなのは創作の時間。絵を描いたり物を作ったりすることが楽しいです。今は野菜と果物の絵本を作っています」

「展示会への出展歴も多数ある森さん。たくさんの方に作品を見てもらおうことが、ひとつの目標になっていると言います。」

「展示会では、私の作品を見た人の反応を感じることができてうれしいです。脚で描くので細かいのは苦手だけれど、長所を生かして、今後は壁一面を使うような大きな作品も描いてみたいですね」

障がいのある方の生活介護を行うとともに、その創作活動を支援しているパッソには、森さんのほかにも複数のアーティストが通所。企業の提案で作品のデザインがネクタイや靴下などに製品化されるなど、その活動に注目が集まっています。



パッソのスタッフさんと一緒に



森さんの作品「海底を漂うコブダイ」
「きになる⇄ひょうげん2019」で特選を受賞。

福島県障がい者芸術作品展 「きになる⇄ひょうげん2019」

「きになる」をひとつの基準に、県内から作品を募集しました。作者や施設の方など、誰かが「きになった」ことから生まれた、見た人もなんだか気になってしまう作品展です。



ふかや みかこ
福島県知事賞 深谷 美加子「おもいで本」
漫画雑誌のページの間に、深谷さんが気になったいろんなものが挟まっています。

〈浜通り会場〉

日時 2月19日(水)～2月24日(月・祝)
午前10時30分～午後6時30分
会場 イオンモールいわき小名浜
4階イオンホール
(いわき市小名浜)

☎ 社会福祉法人安積愛育園
はじまりの美術館
☎0242(62)3454

きになるひょうげん2019

検索

障がい者スポーツを体験！



車いすフェンシングの体験

パラリンピック競技
体験イベント

東京2020パラリンピックへの機運を盛り上げるため、いわき市でパラスポーツの体験イベントを開催しました。

パラアスリートやオリンピックによるトークステージなども行われ、来場者はアスリートの方たちと触れ合いながら、さまざまなパラスポーツを体験しました。



福島の輝く未来へ！スポーツわくわくプロジェクト
「車いすバドミントン教室」

パラバドミントンは、東京大会から正式競技に採用。東日本国際大学バドミントン部などの協力により、初心者でも楽しめる体験教室を南相馬市で開催しました。

県では、今後も県内各地で、子どもたちの将来の自分づくりの一環として、スポーツや運動に親しみながら、体を動かす機会を提供します。

東日本国際大学バドミントン部
おおはた りゅうへい
大畑 龍平さん

バドミントンを初めて体験しました。優しく教えてくれて、練習しているうちに少しずつうまく打てるようになってうれしかったです。

よこやま はやて
横山 颯さん



今後とも、障がいや障がいのある方への理解を促進しながら、障がいのある方もない方も共に暮らしやすい社会の実現に向け、取組を進めてまいります。

県では、全ての県民が、障がいの有無にかかわらず、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を目指しています。



知事
メッセージ
Message

全ての県民が
尊重し合いながら
共生する社会に
福島県知事 内堀 雅雄